



## 2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 株式会社正興電機製作所  
 コード番号 6653 URL <https://www.seiko-denki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 添田 英俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括本部長 (氏名) 田中 勉  
 定時株主総会開催予定日 2026年3月27日 配当支払開始予定日 (TEL) 092-473-8831  
 有価証券報告書提出予定日 2026年3月26日 2026年3月12日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期の連結業績 (2025年1月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
2025年12月期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	31,380	7.8	2,615	29.7	3,126	32.5	2,036	32.6
(注) 包括利益		2025年12月期	2,778百万円( -66.9%)		2024年12月期		1,664百万円( △17.4%)	
2024年12月期		29,099	7.5	2,016	24.2	2,359	29.9	1,536

(参考) 持分法投資損益 2025年12月期 - 百万円

2024年12月期 - 百万円

1,664百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
2025年12月期	百万円	34,715	百万円	18,089	%	52.1	円 銭	1,337.43
2024年12月期		30,331		15,882		52.4		1,177.06
(参考) 自己資本		2025年12月期	18,089百万円		2024年12月期		15,882百万円	

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
2025年12月期	百万円	3,808	百万円	△1,300	百万円	△2,422	百万円	3,252
2024年12月期		339		160		391		3,160

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2024年12月期	円 銭	20.00	円 銭	20.00	円 銭	513	%	%
2025年12月期	—	25.00	—	25.00	円 銭	676	32.2	3.5
2026年12月期(予想)	—	27.50	—	27.50	円 銭	55.00	33.2	4.0
							32.3	

### 3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
第2四半期(累計)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	16,600	15.2	1,400	4.6	1,600	4.6	1,080	10.6	79.85	
	36,000	14.7	3,000	14.7	3,400	8.8	2,300	12.9	170.05	

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更  
新規 一社 、除外 一社 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

	2025年12月期	13,908,595株	2024年12月期	13,908,595株
	2025年12月期	383,148株	2024年12月期	415,155株
	2025年12月期	13,513,157株	2024年12月期	12,367,586株

(注)1株当たり当期純利益(連結)の算定の基礎となる株式数については、15ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年12月期の個別業績（2025年1月1日～2025年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	21,585	4.2	2,264	30.6	2,798	30.5	1,839	24.7
2024年12月期	20,716	8.6	1,733	28.3	2,144	39.1	1,474	41.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年12月期	136.15		—					
2024年12月期	119.26		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	29,253	16,704	57.1	1,235.05
2024年12月期	26,355	14,774	56.1	1,094.95

(参考) 自己資本 2025年12月期 16,704百万円 2024年12月期 14,774百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。

当社は、2026年2月18日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(表示方法の変更) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、好調な企業収益や雇用・所得環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調で推移しましたが、米国の通商政策の影響や地政学的リスクの高まりなど、先行きについては引き続き注視が必要な状況にあります。

一方、A I やD X をはじめとするデジタル投資の拡大により、A I データセンターの建設や、それに伴う電力需要の増加を受けた蓄電所など関連分野への投資が進展しており、今後も拡大が見込まれております。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画（S E I K O I C 2 0 2 6）の基本方針である「企業活動・事業活動を通じた社会課題解決により、サステナブルな社会の実現に貢献する」のもと、「デジタル技術を活用した社会課題解決」「カーボンニュートラルへの取り組み」「O n e 正興によるグループ総合力の発揮」の3つの重点施策に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、環境エネルギー部門において、公共分野での大口案件の獲得や、データセンター、蓄電所向けの受注が伸び、受注高は39,183百万円（前期比 30.8%増）となりました。売上高につきましては、環境エネルギー部門の公共分野に加え、再生可能エネルギー関連が堅調に推移し、売上高は31,380百万円（同 7.8%増）、損益につきましては、電力部門や環境エネルギー部門の利益率が改善したことにより、営業利益は2,615百万円（同 29.7%増）、また、投資有価証券の売却などにより、経常利益は3,126百万円（同 32.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,036百万円（同 32.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (電力部門)

情報制御分野において、中央給電指令所向けの制御システム（O T）や、遠隔監視システムなどのスマート保安システムは堅調に推移したもの、配電機器製品が計画に対し低調となり、売上高は8,247百万円（前期比 0.5%減）となりました。セグメント利益につきましては、原価低減活動が奏功し、1,237百万円（同 18.3%増）となりました。

#### (環境エネルギー部門)

公共分野において、水処理施設向け監視制御システムや、データセンター向け大型案件が堅調に推移したほか、現地工事についても順調に進捗し、売上高は12,994百万円（前期比 9.4%増）、セグメント利益は、739百万円（同 118.4%増）となりました。

#### (情報部門)

スマート港湾の展開やシステム開発など、港湾分野及び開発分野は底堅く推移し、売上高は1,570百万円（前期比 0.3%増）となりましたが、ヘルスケア分野において、開発コストが増加したことにより、セグメント利益は113百万円（同 50.5%減）となりました。

#### (サービス部門)

太陽光発電所向け電気設備関連や工場向けの設備更新工事が堅調に推移し、売上高は6,141百万円（前期比 24.0%増）となりました。また、セグメント利益は135百万円（同 111.9%増）となりました。

#### (その他)

電子制御機器製品や液晶複合膜フィルム、また、発電所・変電所向け工事が堅調に推移したことにより、売上高は2,426百万円（前期比 0.5%増）、セグメント利益は388百万円（同 14.6%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (流動資産)

当連結会計年度における流動資産の残高は、前連結会計年度と比較して1,551百万円増加の21,612百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が1,229百万円増加したことや、商品及び製品が159百万円増加したことによるものであります。

### (固定資産)

当連結会計年度における固定資産の残高は、前連結会計年度と比較して2,832百万円増加の13,103百万円となりました。これは主に、ひびきの研究開発センター建設に伴い、建設仮勘定が1,439百万円増加したことや、投資有価証券が時価の上昇等により1,084百万円増加したことによるものであります。

### (流動負債)

当連結会計年度における流動負債の残高は、前連結会計年度と比較して1,798百万円増加の13,373百万円となりました。これは主に、短期借入金が1,506百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が1,485百万円増加したことや、契約負債が1,147百万円増加したことによるものであります。

### (固定負債)

当連結会計年度における固定負債の残高は、前連結会計年度と比較して378百万円増加の3,252百万円となりました。

### (純資産)

当連結会計年度における純資産の残高は、前連結会計年度と比較して2,206百万円増加の18,089百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当により608百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する当期純利益が2,036百万円の計上により増加したことや、その他有価証券評価差額金が投資有価証券の時価の上昇により729百万円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ91百万円増加の3,252百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、3,808百万円（前連結会計年度は339百万円の獲得）となりました。これは主に、売上債権が1,215百万円増加し、法人税等の支払により976百万円資金を支出した一方で、税金等調整前当期純利益3,126百万円を計上し、仕入債務が1,485百万円、契約負債が1,147百万円の増加により資金を得られたことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、1,300百万円（前連結会計年度は160百万円の獲得）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入が484百万円発生した一方で、有形固定資産の取得による支出が1,639百万円あったことによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、2,422百万円（前連結会計年度は391百万円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金が1,524百万円減少したことや、配当金の支払が608百万円あったことによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期
自己資本比率(%)	42.4	41.2	45.9	52.4	52.1
時価ベースの自己資本比率(%)	56.5	41.8	46.6	51.5	91.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	2.3	—	1.0	8.0	0.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	62.9	—	90.9	15.3	161.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 いづれも連結ベースの財務数値により計算しています。

2 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

3 キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

4 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

5 キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスである年度については記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

2026年12月期の通期業績といたしましては、受注高43,000百円、売上高36,000百万円、営業利益3,000百万円、経常利益3,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,300百万円を計画しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,168	3,260
受取手形、売掛金及び契約資産	13,781	14,942
商品及び製品	637	797
仕掛品	1,839	1,851
原材料	419	415
その他	230	361
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	20,060	21,612
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	9,502	9,645
減価償却累計額	△5,268	△5,511
建物及び構築物（純額）	4,234	4,133
機械装置及び運搬具	1,548	1,592
減価償却累計額	△1,436	△1,485
機械装置及び運搬具（純額）	111	106
工具、器具及び備品	1,423	1,446
減価償却累計額	△1,345	△1,363
工具、器具及び備品（純額）	78	83
土地	1,136	1,143
リース資産	393	856
減価償却累計額	△246	△382
リース資産（純額）	146	473
建設仮勘定	65	1,504
有形固定資産合計	5,773	7,445
<b>無形固定資産</b>		
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	4,131	5,215
その他	161	227
貸倒引当金	△6	△5
投資その他の資産合計	4,285	5,437
<b>固定資産合計</b>	10,270	13,103
<b>資産合計</b>	30,331	34,715

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	4,620	6,106
電子記録債務	1,579	1,584
短期借入金	2,162	655
未払法人税等	587	840
契約負債	381	1,529
工事損失引当金	22	72
その他	2,220	2,583
流動負債合計	11,574	13,373
<b>固定負債</b>		
長期借入金	552	323
繰延税金負債	514	766
退職給付に係る負債	1,625	1,636
その他	181	525
固定負債合計	2,873	3,252
<b>負債合計</b>	<b>14,448</b>	<b>16,626</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>3,323</b>	<b>3,323</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>2,724</b>	<b>2,746</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>8,116</b>	<b>9,544</b>
<b>自己株式</b>	<b>△193</b>	<b>△179</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>13,970</b>	<b>15,434</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>1,896</b>	<b>2,625</b>
<b>為替換算調整勘定</b>	<b>△68</b>	<b>△65</b>
<b>退職給付に係る調整累計額</b>	<b>84</b>	<b>94</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>1,912</b>	<b>2,654</b>
<b>純資産合計</b>	<b>15,882</b>	<b>18,089</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>30,331</b>	<b>34,715</b>

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	29,099	31,380
売上原価	23,904	25,428
売上総利益	5,194	5,951
販売費及び一般管理費		
役員報酬	283	285
給料及び手当	1,036	1,088
賞与	386	416
退職給付費用	65	61
その他	1,406	1,485
販売費及び一般管理費合計	3,178	3,336
営業利益	2,016	2,615
営業外収益		
受取利息	0	9
受取配当金	105	114
受取賃貸料	22	30
投資有価証券売却益	144	444
その他	383	52
営業外収益合計	656	651
営業外費用		
支払利息	22	23
支払保証料	7	16
事業構造改善費用	201	－
製品不具合対応費用	－	55
その他	82	45
営業外費用合計	313	140
経常利益	2,359	3,126
税金等調整前当期純利益	2,359	3,126
法人税、住民税及び事業税	805	1,220
法人税等調整額	17	△130
法人税等合計	822	1,089
当期純利益	1,536	2,036
親会社株主に帰属する当期純利益	1,536	2,036

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純利益	1,536	2,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	729
為替換算調整勘定	7	3
退職給付に係る調整額	99	9
その他の包括利益合計	128	742
包括利益	1,664	2,778
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,664	2,778

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,607	1,988	7,036	△204	11,428
当期変動額					
新株の発行	715	715			1,431
剰余金の配当			△456		△456
親会社株主に帰属する当期純利益			1,536		1,536
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		20		10	30
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	715	735	1,079	10	2,541
当期末残高	3,323	2,724	8,116	△193	13,970

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,875	△76	△15	1,784	13,212
当期変動額					
新株の発行					1,431
剰余金の配当					△456
親会社株主に帰属する当期純利益					1,536
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					30
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	20	7	99	128	128
当期変動額合計	20	7	99	128	2,669
当期末残高	1,896	△68	84	1,912	15,882

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,323	2,724	8,116	△193	13,970
当期変動額					
新株の発行					-
剰余金の配当			△608		△608
親会社株主に帰属する当期純利益			2,036		2,036
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		21		15	36
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	21	1,428	14	1,464
当期末残高	3,323	2,746	9,544	△179	15,434

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,896	△68	84	1,912	15,882
当期変動額					
新株の発行					-
剰余金の配当					△608
親会社株主に帰属する当期純利益					2,036
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					36
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	729	3	9	742	742
当期変動額合計	729	3	9	742	2,206
当期末残高	2,625	△65	94	2,654	18,089

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,359	3,126
減価償却費	405	440
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△86	27
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2	△1
受取利息及び受取配当金	△105	△123
支払利息	22	23
売上債権の増減額（△は増加）	△570	△1,147
棚卸資産の増減額（△は増加）	△132	△159
仕入債務の増減額（△は減少）	△852	1,485
投資有価証券売却損益（△は益）	△144	△444
契約負債の増減額（△は減少）	64	1,147
その他	△59	308
小計	897	4,682
利息及び配当金の受取額	105	123
利息の支払額	△24	△21
法人税等の支払額	△638	△976
営業活動によるキャッシュ・フロー	339	3,808
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△8	△8
定期預金の払戻による収入	8	8
有形固定資産の取得による支出	△365	△1,639
無形固定資産の取得による支出	△34	△56
投資有価証券の取得による支出	△35	△61
投資有価証券の売却による収入	217	484
その他	377	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー	160	△1,300
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△283	△1,524
長期借入金の返済による支出	△228	△228
株式の発行による収入	1,431	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△456	△608
リース債務の返済による支出	△70	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	391	△2,422
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	6
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	911	91
現金及び現金同等物の期首残高	2,248	3,160
現金及び現金同等物の期末残高	3,160	3,252

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しております「営業外収益」の「固定資産売却益」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「固定資産売却益」338百万円、「その他」45百万円は、「その他」383百万円として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しております「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「有形固定資産売却損益（△は益）」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「有形固定資産売却損益（△は益）」△338百万円、「その他」278百万円は、「その他」△59百万円に組み替えております。

また、前連結会計年度において、独立掲記しております「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「有形固定資産の売却による収入」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「有形固定資産の売却による収入」379百万円、「その他」△2百万円は、「その他」377百万円に組み替えております。

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業部門を置き、各事業部門は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業部門を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「電力部門」、「環境エネルギー部門」、「情報部門」及び「サービス部門」の4つを報告セグメントとしております。「電力部門」は、発電所及び変電所向け集中監視制御システム・電気設備、配電線自動制御システム・配電機器、電力業務ITシステム、スマート保安システム等の開発・製造・販売と本製品に関する工事及びエンジニアリング等に関する事業を行っております。「環境エネルギー部門」は、上下水道設備向け受変電・監視制御システム、高速道路向け受変電・照明制御システム、一般産業・再生可能エネルギー・AIデータセンター・系統用蓄電所向け受変電システム、蓄電システム、蓄電池用パワーコンディショナー、スマート保安システム等の開発・製造・販売と本製品に関する工事及びエンジニアリング等に関する事業を行っております。「情報部門」は、港湾、ヘルスケア、eラーニング等に関するクラウドサービス（SaaS）、AI・IoT等を活用した各種業務支援システム開発に関する事業を行っております。「サービス部門」は、電気機械設備・電気設備・省エネ機器・ロボット等のデジタル化や脱炭素に関する製品の販売と本製品に関するエンジニアリング・工事施工・メンテナンス等に関する事業を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸 表計上額 (注)3
	電力 部門	環境 エネルギー 部門	情報 部門	サービス 部門	計				
売上高									
一時点で移転される 財又はサービス	3,738	2,123	571	1,678	8,112	1,430	9,543	—	9,543
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	4,547	9,757	993	3,261	18,559	982	19,541	—	19,541
顧客との契約から生じる 収益	8,286	11,880	1,565	4,939	26,671	2,413	29,085	—	29,085
その他の収益	—	—	—	14	14	—	14	—	14
外部顧客への売上高	8,286	11,880	1,565	4,953	26,685	2,413	29,099	—	29,099
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	43	529	642	1,215	526	1,742	△1,742	—
計	8,286	11,923	2,095	5,595	27,901	2,940	30,841	△1,742	29,099
セグメント利益	1,045	338	228	63	1,677	339	2,016	—	2,016
セグメント資産	6,753	11,819	876	3,348	22,797	2,841	25,639	4,691	30,331
その他の項目									
減価償却費	121	145	43	13	324	81	405	—	405
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	—	—	—
のれんの未償却残高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	103	63	37	11	216	212	428	—	428

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、調光フィルム、電気工事及び機械器具設置工事等に関する事業であります。

2 セグメント資産の調整額は、全社資産であり、親会社での余資運用資金(預金)及び長期投資資金(投資有価証券)等であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	電力 部門	環境 エネルギー 部門	情報 部門	サービス 部門	計				
売上高									
一時点で移転される 財又はサービス	3,232	2,252	540	1,681	7,707	1,691	9,398	—	9,398
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	5,014	10,742	1,029	4,444	21,232	735	21,967	—	21,967
顧客との契約から生じる 収益	8,247	12,994	1,570	6,126	28,939	2,426	31,365	—	31,365
その他の収益	—	—	—	14	14	—	14	—	14
外部顧客への売上高	8,247	12,994	1,570	6,141	28,953	2,426	31,380	—	31,380
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	13	488	727	1,233	413	1,647	△1,647	—
計	8,251	13,008	2,059	6,868	30,187	2,840	33,028	△1,647	31,380
セグメント利益	1,237	739	113	135	2,226	388	2,615	—	2,615
セグメント資産	7,044	12,875	1,537	4,527	25,984	3,008	28,992	5,723	34,715
その他の項目									
減価償却費	133	161	51	12	359	80	440	—	440
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	—	—	—
のれんの未償却残高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	928	610	372	45	1,956	157	2,114	—	2,114

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、調光フィルム、電気工事及び機械器具設置工事等に関する事業であります。

2 セグメント資産の調整額は、全社資産であり、親会社での余資運用資金(預金)及び長期投資資金(投資有価証券)等であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1 株当たり純資産額	1,177円06銭	1,337円43銭
1 株当たり当期純利益	124円21銭	150円72銭

(注) 1 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1 株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1 株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,536	2,036
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,536	2,036
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,367	13,513

3 1 株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	15,882	18,089
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	15,882	18,089
普通株式の発行済株式数(千株)	13,908	13,908
普通株式の自己株式数(千株)	415	383
1 株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数 (千株)	13,493	13,525

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。